



東陽の旋風かぜ ～自律貢献～

令和5年4月14日（金）No 2 発行
文責：松本 卓也

小学校で学んだ「すすんで たくましく やさしく」の言葉を 思い出し、新しいことにも積極的に挑戦します！

暖かな春の日差しの中、第55回入学式を11日（火）に挙行了しました。新入生氏名報告では、担任の氏名点呼に「ハイッ！！」と大きな明るい声で返事し立ち上がる姿は、とても凛々しく希望に満ち溢れていました。在校生歓迎の言葉や 新入生誓いの言葉では、

私達も、2年前に入学したときは不安でした。わからないこと、困ったことがあれば、いつでも私達ちに相談してください。（在校生代表：Uさん）

中学校への入学は、不安もありますが、小学校で学んだ『すすんで たくましく やさしく』の言葉を思い出し、新しいことにも積極的に挑戦していこうと思います。（新入生代表：Tさん）

と、共に新しい東陽中学校を創っていききたいという決意が述べられており、未来に期待を抱かせるものでした。これから始まる中学校生活で、共に多くのことを学び、共に成長していけるように、全力でサポートしていきたいと思います。保護者の皆様、ご臨席誠にありがとうございました。また、H様、我が子の健やかな成長を願う、愛情に溢れたご挨拶、感動しました。ありがとうございました。



学校日より「東陽の旋風」を発行します

学校日より「東陽の旋風」を毎週金曜日にお届けします。学校全体や学年の様子をタイムリーにお伝えできればと思います。個人情報保護の観点から、写真や名前を削ぎ、【編集後記】には、私の思いや感想をいだければと思います。担任の先生、または校長まで届けていただければ幸いです。今年度も、ご愛読よろしくお願い申し上げます。



ベクトルを合わせる



12日（水）、全校学活を行いました。身につけてほしい行動規範や保健室、タブレットの利用法等、約束事を確認し、また、生活習慣などの、生きたり、葛藤の中で、我慢し、規範意識が培われていきます。「努力は足し算、協力はかけ算」の言葉のように、38名の全校生徒と16名の先生方で、しっかりとベクトルを合わせ、協力しながら成長していけるよう頑張ります。

【編集後記】～「教科書無償の話」～

▼子どもたちは、新しい学年になり、新しい教科書を手にし、今から始まる学習に期待を膨らませていることでしょう。その教科書が無償で給付されるようになったのは、1960年代に起った高知県長浜での「教科書無償の闘い」があったからです。▼高知県長浜では、長い間差別と闘ってきた歴史がありました。差別をなくすための学習を続けてきたお母さんたちは、憲法26条の義務教育は、これを無償とするという記述に気づきます。それを振り所にし、「教科書をタダにする会」を立ち上げ、各地で集会を行いました。署名活動を行いました。▼その運動は全国に広がり、ついに政府を動かすこととなりました。運動から1年後、教科書を無償にする法律が成立し、1969年、ついに、全小中学校で教科書が完全無償になったのです。▼「無償」といいますが、実は0円ではありません。これから日本を担う子どもたちへの期待を込め、国民の皆さんがお金を出してくださっているのです。▼「すべての子どもが平等に安心して勉強してほしい」という願いが込められた教科書です。私達はその思いを受け止め、教科書を大切に扱い、しっかり学習していきたいと思ひます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）